

(様式第11)

番号
令和 6 年 10 月 1 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿



住 所 茨城県龍ヶ崎市中里1丁目1番
申請者 社会福祉法人恩賜財団済生会
龍ヶ崎済生会病院
氏 名 院長 海老原 次男

龍ヶ崎済生会病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和 5 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒311-4145 茨城県水戸市双葉台3丁目3番10号
氏名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 茨城県済生会 支部長 村田 実

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

龍ヶ崎済生会病院

3 所在の場所

〒301-0854 茨城県龍ヶ崎市中里1丁目1番	電話 (0297) 63 - 7111
-----------------------------	-----------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	210 床	210 床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	病床数 4床 心電図、除細動器、生体モニター、人工呼吸器、アイスタット、輸液ポンプ シリンジポンプ、自家発電、CHDF対応、体温管理システム、 救急蘇生装置
化学検査室 (検体検査室)	臨床化学自動分析装置、血液ガス分析装置、全自動血液検査装置、自動血液凝固 検査装置、全自動尿分析装置、尿中物質自動分析装置、全自動輸血検査装置、ク ームス自動洗浄機、全自動グルコース分析装置、全自動グリコヘモグロビン測定 装置、臨床検査システム、顕微鏡 血液培養装置、試薬冷蔵庫
細菌検査室	オートクレーブ、安全キャビネット、孵卵器、炭酸ガス培養装置、全自動同定薬 剤感受性検査装置、大型試薬冷蔵庫、細菌検査システム、顕微鏡、冷凍庫
病理検査室	クリオスタット、ラミナーテーブル、光触媒環境浄化装置
病理解剖室	解剖台、切り出し流し台
研究室	医局3室 (パソコン、プリンター、電子カルテ、机、椅子) 医学用シミュレーター (CVC穿刺、挿管・気管支鏡、大腸内視鏡、腹腔鏡、腰椎 穿刺)
講義室	室数 5 室 収容定員 229 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 500 冊程度
救急用又は患者 搬送用自動車	保有台数 1 台 除細動器、ストレッチャー、固定用血圧計、固定式心電図モニター、 携帯型モニター、吸引器、医療用酸素ボンベ、担架
医薬品情報管理室	<u>「専用室の場合」</u> 床面積 9.54 m ² [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	72.1 %	算定 期間	R5 年 4 月 1 日～ R6 年 3 月 31 日
地域医療支援病院 逆紹介率	116.3 %		
算出 根拠	A : 紹介患者の数	4, 786 人	
	B : 初診患者の数	6, 634 人	
	C : 逆紹介患者の数	7, 716 人	

- (注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
2	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
3	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
4	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
5	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
6	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
7	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
8	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
9	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
10	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
11	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
12	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
13	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
14	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
15	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
16	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
17	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
18	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
19	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30 当直有
20	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
21	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30 当直有
22	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
23	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
24	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30 当直有
25	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
26	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30 当直有
27	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
28	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30 当直有
29	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30 当直有
30	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30 当直有
31	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30 当直有
32	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
33	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
34	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
35	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30 当直有
36	医師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30 当直有

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
37	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
38	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
39	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
40	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
41	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
42	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
43	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
44	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
45	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
46	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
47	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
48	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
49	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
50	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
51	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
52	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
53	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
54	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
55	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
56	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
57	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
58	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
59	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
60	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
61	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
62	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
63	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
64	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
65	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
66	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
67	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
68	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
69	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
70	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
71	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
72	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
73	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
74	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
75	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
76	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
77	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
78	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
79	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
80	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
81	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
82	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
83	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
84	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
85	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
86	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
87	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
88	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
89	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
90	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
91	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
92	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
93	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
94	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
95	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
96	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
97	看護師		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
98	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
99	看護師		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
100	看護師		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
101	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
102	看護師		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	
103	看護師		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
104	看護師		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
105	看護師		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
106	看護師		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
107	看護師		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
108	看護師		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
109	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
110	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
111	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
112	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
113	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
114	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
115	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
116	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
117	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
118	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
119	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
120	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30 夜勤有
121	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
122	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
123	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
124	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
125	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30
126	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
127	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
128	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
129	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
130	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
131	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
132	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
133	看護師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
134	看護師		常勤 専従 ✓非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
135	看護師		常勤 専従 ✓非常勤 ✓非専従	8:30~17:00	
136	看護師		常勤 専従 ✓非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
137	看護師		常勤 専従 ✓非常勤 ✓非専従	8:30~16:30	
138	看護師		常勤 専従 ✓非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
139	救急救命士		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
140	救急救命士		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
141	救急救命士		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
142	救急救命士		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有
143	救急救命士		✓常勤 ✓専従 非常勤 非専従	8:30~17:30	夜勤有

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	4 床
専用病床	5 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
集中治療室	129.38 m ²	心電図計、除細動器、生体モニター、人工呼吸器、アイスタット、輸液ポンプ、救急蘇生装置、シリンジポンプ、体温管理システム 他	可
臨床検査室	251.18 m ²	臨床化学自動分析装置、血液ガス分析装置、全自動血液検査装置、オートクレーブ、血液培養装置、細菌検査システム、孵卵器、心電図検査、心エコー、内視鏡システム 他	可
放射線科	243.38 m ²	血液造影装置、CT、MRI、超音波診断装置、一般撮影装置、透視用X線装置 他	可
救急外来診察室	90 m ²	中央配管（酸素・笑気・空気・吸引）、モニター、人工呼吸器、救急カート、除細動器、12誘導心電図、ヘパフィルター、輸液ポンプ、シリンジポンプ、エコー、Vスキャン、酸素ボンベ、エアウェイスコープ、血液ガス分析装置、バックバルブマスク、マックグラス（挿管用）、アイジェル 他	可
手術室	169 m ²	手術台4台、全身麻酔器、モニター、電気メス、バイポーラ、顕微鏡、除細動器、无影灯、医療用X線発生装置、超音波エコー、腹腔鏡、ボーンバンク用冷蔵庫 他	可

4 備考

--

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2, 530 人 (963 人)
上記以外の救急患者の数	5, 677 人 (664 人)
合計	8, 207 人 (1, 627 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

(様式第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

令和5年4月～令和6年3月 実績

- 共同利用を行った医療機関の延べ数 1,253 件
- 開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 534 件
- 開放型病床数 8 床（利用患者延べ数 578 名 利用率 20.07 %）

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- 1 共同病床 8 床
地域医療連携室、地域医療連携室FAX、登録医用白衣・名札
- 2 カンファレンス用設備
プロジェクター、パソコン、テレビ、カメラ、ホール貸し出し
- 3 検査機器
 - (1) 放射線科
MRI、CT、超音波検査装置、内視鏡検査装置、骨密度測定装置
 - (2) 生理検査
心電図検査装置、心エコー検査装置、血管エコー検査装置、呼吸機能検査装置、24時間心電図
- 4 その他
栄養指導

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有 無
- イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名: XXXXXXXXXX
職 種: 地域医療連携室

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙参照				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	8 床
--------------	-----

(様式第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	23	回
(2) (1) の合計研修者数	601	人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 無
 イ 研修委員会設置の有無 有 無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	循環器内科	部長	35 年	教育責任者
	医師	消化器内科	院長	44 年	
	医師	産婦人科	副院長	43 年	
	医師	脳神経内科	副院長	29 年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
済生会ホール	286.38 m ²	収容人数 165人 机、椅子、プロジェクター
会議室 2	34.80 m ²	収容人数 20人
会議室 3	34.80 m ²	収容人数 20人
会議室 4	26.47 m ²	収容人数 12人 机、椅子
会議室 5	26.47 m ²	収容人数 12人 机、椅子

机、椅子、プロジェクター
 会議室2と3は、可動パーティションにより仕切られており、2室併せた使用が可能

(様式第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		<ul style="list-style-type: none"> ・中央病歴管理室 ・看護部 ・地域医療連携室 ・電子カルテ内 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者番号 ・月別、年度別
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室 	月別、年度別
	救急医療の提供の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室 ・総務課 	月別、年度別
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室 	月別、年度別
	閲覧実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室 	月別、年度別
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室 	月別、年度別

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	地域医療連携室
閲覧の手続の概要 カルテ閲覧手順 ・申請書を提出（依頼は地域医療連携室へのFAXまたは電話にて受付） ・申請受理後、日程調整 ・担当医同席のもとカルテ閲覧	

前年度の総閲覧件数		実績なし	件
閲覧者別	医師		件
	歯科医師		件
	地方公共団体		件
	その他		件

(様式第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4 回	
委員会における議論の概要		
<p>令和5年度 第1回地域医療支援病院運営委員会 開催日時：令和5年6月29日（木）19：00～20：00</p> <p>1 開会の挨拶 本年4月に基幹型初期臨床研修病院の指定を受けましたので、研修医を積極的に受け入れていきたい。</p> <p>2 実績報告 ○紹介割合・逆紹介割合 ○救急搬送件数及び救急車入院数と入院率 患者構成（診療科・年齢・病名） ○相談件数 ○2022年度地域連携カンファランス実績報告 ○入院方在宅までの切れ目のなり医療を提供するための取組</p> <p>3 「急性心筋梗塞ホットライン」及び「心電図119番」導入に伴う取り組みについて (導入目的) 地域支援病院としての使命を担う救急体制の強化、迅速な治療を開始することにより患者の命を救うことである。既に令和5年1月23日の救急連絡会で導入の承認がされ、令和5年3月より開始している。 OMIホットラインを導入し、急性心筋梗塞患者の受入拡充と救急車入電から処置に至るまで短時間で治療（以下 ドア・ツー・バルーンタイム）を開始することが可能な体制整備を講じた。 昨年度実績では、緊急搬送された急性心筋梗塞患者は26件、うち90分以内の治療開始は6件（24%）でした。</p> <p>4 産科病棟の改修について 施設が22年経過し、老朽化してきているので、付属棟工事と同時期で産科病棟の改修を予定しており令和6年3月完成予定。費用については、クラウドファンディングの利用を考えている。LDR（陣痛・分娩・回復室）も作る予定であり、より快適に過ごしていただけるよう改修予定。</p>		

第2回地域医療支援病院運営委員会

開催日時：令和5年10月6日（木）

1 実績報告

- 紹介率・逆紹介率
- 救急車搬送の件数及び救急車入院数と入院率
- 救急搬送受入状況（応需状況）
- 救急搬送入院患者の属性（診療科、年齢、診断群別）
- 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績

第3回地域医療支援病院運営委員会

開催日時：令和6年1月17日（水）

1 実績報告

- 紹介割合、逆紹介割合
- 救急車搬送件数及び救急車入院数と入院率
- 救急搬送受入状況（応需状況）
- 救急搬送入院患者の属性（診療科、年齢、診断群別）
- 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修

2 その他

- 保健所 ■■■ 所長より

逆紹介率が100%を超えている理由を教えてください

（逆紹介率の算出方法）

他院へ紹介した患者を、初診患者数から救急搬送、休日夜間時間外受診、健康診断後要治療者数を引いた数で割った数

→他院への紹介には、初診患者と再診患者が含まれているため100%を超える場合がある

第4回地域医療支援病院運営委員会

開催日時：令和6年3月21日（木）

1 実績報告

- 紹介割合、逆紹介割合
- 救急車搬送件数及び救急車入院数と入院率
- 救急搬送受入状況（応需状況）
- 救急搬送入院患者の属性（診療科、年齢、診断群別）
- 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修

（注） 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 相談室 その他 (病棟等)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師 MSW 事務
患者相談件数	4, 131 件
患者相談の概要	
<p>令和5年度実績</p> <p>【患者相談の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none">○受診科相談 (他院紹介含む)○検査内容、薬剤についての相談○医療費相談 (健康保険・公費制度の援助・医療費支払いに関する相談)○無料低額診療事業の説明○福祉相談 (各種手帳、年金、手当、補装具)○療養相談 (受診援助・入院援助・療養上の問題調整)○転院先調整○クレーム対応○要望 等 <p>【講じた対策】</p> <ul style="list-style-type: none">○玄関脇の傘立てはいつ来ても傘が置きっぱなしで、病院として清潔な環境ではない。 →放置傘が多かったため、一定期間を設けその後放置傘及び傘立てを撤去した。○身障者駐車スペースに一般車両が停まっていて駐車できない →警備員が定期的に巡回し、声掛けの徹底に努めた。○バス停に日よけがほしい →バス待合室を新設し、快適に過ごせるよう改善した。○会計待ち時間が長い →様々な要因があるが、関係各所代表者で待ち時間WGを発足し、問題点の抽出、改善に向け検討中である。	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 2019年5月10日 日本医療機能評価機構	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ○ホームページ ○広報誌 ○近隣医療機関への郵送物（毎月） ・カンファランスの案内 ・診療科別担当医一覧表 ・休診・代診表 ・日当直表 ・医師紹介	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 看護師6名配置（内2名専従）、社会福祉士1名、入退院支援加算1取得 退院困難な患者を抽出し要因を分析。安心・安全な退院が出来るよう地域を含めた他職種でカンファレンス・連携を行い退院計画・調整を行う。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 ○脳卒中地域連携パス ○大腿骨地域連携パス ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み ○MSWによる評議会への参加	

龍ヶ崎済生会病院
登録医規定

(目的)

第1条 龍ヶ崎済生会病院登録医（以下「登録医」）制度は、地域医療機関と龍ヶ崎済生会病院（以下「病院」）との間で、紹介患者を中心とした地域住民に良質な医療を提供するため緊密かつ迅速・円滑な医療連携体制の構築を目的とする。

(登録)

第2条 この規定において「登録医」とは、龍ヶ崎市医師会・牛久市医師会ならびに周辺医師会および歯科医師会の会員のうち申請のあったもののなかから病院長が承認した者をいう。

(便宜供与)

第3条 登録医は申し出（申請書提出）により次の便宜が供与される。

- 1 地域医療連携室、カンファレンス室、図書室、済生会ホール、会議室の利用。
- 2 病院で行われる各科症例検討会及び手術・検査等の見学について病院長の了解のもとに参加できるものとする。
- 3 登録医の医院における患者の検査を当院に依頼する事ができる。

(共同利用の範囲)

第4条 当院における共同利用の範囲は次の通りとする。

- 1 地域医療連携室、カンファレンス室、図書室、済生会ホール、会議室の利用。
- 2 検査機器
 - ・CT（単純・造影）
 - ・MRI（単純・造影）
 - ・X-p 単純
 - ・骨塩定量検査（骨密度検査）
 - ・上部消化管内視鏡検査
 - ・SVC+FVC（静的肺活量+努力性肺活量）
 - ・心エコー
 - ・表在エコー
 - ・血管エコー
 - ・心電図検査
 - ・ホルター心電図
- 3 その他
 - ・栄養指導

(規定の順守)

第5条 登録医は、病院の方針及び個人情報保護を含む諸規定を厳守し、病院長の指示に従うものとする。

附則 この要項は、2003年7月14日から施行する。
2021年4月1日 一部改訂

龍ヶ崎済生会病院 登録医申請書

氏名	フリガナ		
保険医登録 記号番号			
医療機関名	フリガナ		
開設者			
TEL		FAX	
所在地	〒 _____		
緊急時連絡先			
ベット数	無 床	有 床	床
診療科目			

上記のとおり申請いたします。

20 年 月 日

龍ヶ崎済生会病院

院長 海老原 次男殿

氏名 _____ 印

龍ヶ崎済生会病院施設使用許可申請書

龍ヶ崎済生会病院 殿

年 月 日

使用申請者

医療機関名

使用者

印

住所

電話

次の通り、龍ヶ崎済生会病院施設を使用許可を申請します。

使用場所	年 月 日 () : ~ : まで
使用場所	地域医療連携室 カンファレンス室 図書室 その他 ()
使用目的	カルテ閲覧 手術・検査等見学 その他 ()

受付者

龍ヶ崎済生会病院

龍ヶ崎済生会病院
開放型病床運営規定

(目的)

第1条 この規定は龍ヶ崎済生会病院（以下「病院」という）の開放型病床の運営に関し必要な事項を定める。

(登録医)

第2条 この規定において「登録医」とは、龍ヶ崎市医師会・牛久市医師会ならびに周辺医師会および歯科医師会の会員のうち申請のあったもののなかから病院長が承認した者をいう。

(担当医)

第3条 この規定において「担当医」とは、登録医から紹介された入院患者について主に診療を担当する病院の医師をいう。

(開放型病床)

第4条 この規定において「開放型病床」とは登録医が紹介・入院させ自ら病院に赴いて診察し療養上の指導（以下「指導」という。）を行うことが出来る患者の病床をいう。

(対象病床)

第5条 対象病床は8床とする。

(対象診療科)

第6条 対象診療科は当病院の診療科全科。

(対象患者)

第7条 対象患者は急性期疾患患者とする。

(入院)

第8条 登録医は、あらかじめ当院へ連絡して、開放型病床利用希望を申し出て、当該診療科責任医師（またはその代行医師、日当直医師）に連絡して、病状および入院目的を説明し、受け入れを確認した後、患者に診療情報提供書を持参させ、担当診療科に紹介する。

2 担当医は、当該患者を診察した後、治療方針について速やかに登録医に電話等により連絡する。

3 地域医療連携・相談室は登録医に対し、開放型病床入院報告書をFAX若しくは郵送する。

4 入院期間は原則として1ヶ月を限度とする。

(退院)

第9条 退院は担当医と登録医が協議して決めるものとし、退院に際して担当医は患者に紹介状（診療情報提供書）を交付し、紹介登録医に後送する。

(診療及び指導)

第10条 開放型病床を利用する患者の担当医と登録医は常に連携を密にし、病状・検査の説明・指導にあたっては、患者に誤解や不安を与えないよう細心の注意を払わなければならない。

2 登録医が病院へ紹介入院させた患者を診察するについては次により行うものとする。

(1) 登録医は患者を診察し担当医と事前に協議の上、患者に療養上の指導等を行うものとする。

(2) 担当医と協議した結果行う、検査、処方、治療等の指示については担当医がこれを行うものとする。ただし、最終的決定には十分なインフォームドコンセントに基づき、患者、患者家族と担当医師との間で行うものとする。

(3) 登録医から希望がある場合、院長が許可したものについて患者の了解を得た上で、検査や手術、治療に助手として参加することができる。

(4) 病床における登録医の診療並びに指導等の時間は8時30分から21時までとする。ただし、緊急の場合はこの限りではない。

(5) 登録医が指導等のために来院するときは、あらかじめ電話等により地域医療連携・相談室に来院日時を連絡するものとする。

ただし、土曜午後、日、祝日及び午後5時以降は警備室に連絡するものとする。

(6) 登録医は、共同指導等を行った場合には、病棟に準備した開放型病院共同指導票（別紙様式）に必要事項を記載して、1枚（登録医用）は持ち帰り、残りは病棟クレークまたは看護師、医師に手渡すものとする。

地域医療連携・相談室においては、1枚（入院カルテ用）を電子カルテに取込み保存し、1枚は医事課保管とし、1枚（地域連携室控）は地域医療連携・相談室にて保管し、共同指導を行ったものとする。

(7) 登録医は、指導等を行わない場合にも、来院し医師として患者と接した場合には地域医療連携・相談室または警備室に来院した旨の記名を行う。

(開放型病院共同指導料の徴収)

第11条 紹介元の登録医と共同して紹介入院患者の指導を行った場合、共同指導料は双方が診療報酬点数表に基づき請求する。登録医が行った共同指導料にかかる患者一部負担金については登録医が徴収するものとする。

(登録医の責務)

第12条 登録医は病院内においては診察衣の着用が望ましく、所定の名札を付けるものとする。

2 病院内においては病院の諸規定を遵守しなければならない。

(損害賠償)

第13条 登録医・担当医の医療行為により、患者もしくはその家族等から損害賠償を求められた場合は、関係者で協議するものとする。

(運営)

第14条 開放型病院の運営に関するすべての事項を審議するため、「龍ヶ崎済生会病院開放型病床運営協議会」（以下「運営協議会」という）を設置する。

2 運営協議会の組織は次のとおりとする。

会長	病院長
副会長	2名とし、副院長及び龍ヶ崎市医師会・牛久市医師会会長
委員	病院側4名（診療部長、事務部長、看護部長、総務課長） 医師会側4名（会員の内から選任）
事務局	地域医療連携・相談室

(1) 委員の任期は2年とするが再任を妨げない。

(2) 会長は協議会を主宰する。

(3) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(4) 会長は必要に応じ委員以外のものを協議会に出席させることができる。

3 協議会は、会長が必要と認めたときに召集する。

(雑則)

第15条 この規定に定めのない事項については、この協議会において適宜協議するものとする。

附則	この要項は、2003年 7月14日から施行する。
	2005年11月10日 一部改訂
	2006年11月30日 一部改訂
	2013年11月14日 一部改訂
	2021年 4月 1日 一部改訂

龍ヶ崎済生会病院

登録医・開放型病床運営に関する協定書

病診機能の円滑な連携をはかり、併せて、医学の進歩と医療技術の発展に対応し、地域包括医療の実践と生涯教育の確立のため、龍ヶ崎済生会病院の中に運営する『龍ヶ崎済生会病院開放型病床』（以下開放型病床という）の管理運営について、『龍ヶ崎市医師会・牛久市医師会』（以下甲という）と『龍ヶ崎済生会病院』（以下乙という）は次の通り協定する。

（登録医）

第1条 この規定において『登録医』とは甲に所属する者のうち、申請のあったもののなかから乙の院長が承認した者をいう。

（担当医）

第2条 この規定において「担当医」とは、登録医から紹介された入院患者について主に診療を担当する乙の医師をいう。

（開放型病床）

第3条 この規定において「開放型病床」とは甲が紹介・入院させ自ら病院に赴いて診察し療養上の指導（以下「指導」という）を行うことが出来る患者の病床をいう。

（対象病床）

第4条 対象病床は8床とする。

（対象診療科）

第5条 対象診療科は乙の診療科全科

（対象患者）

第6条 対象患者は急性期疾患患者とする。

（入院）

第7条

- 1 登録医は、あらかじめ乙へ連絡して、開放型病床利用希望を申し出て、当該診療科責任医師（またはその代行医師、日当直医師）に連絡して、病状および入院目的を説明し、受け入れを確認した後、患者に診療情報提供書を持参させ、担当診療科に紹介する。
- 2 担当医は、当該患者を診察した後、治療方針について速やかに登録医に電話等により連絡する。
- 3 地域医療連携室は登録医に対し、開放型病床入院報告書をFAX若しくは郵送する。
- 4 入院期間は原則として1ヶ月を限度とする。

（退院）

第8条 退院は担当医と登録医が協議して決めるものとし、退院に際して担当医は患者に紹介状（診療情報提供書）を交付し、紹介登録医に後送する。

(診療及び指導)

第9条 開放型病床を利用する患者の担当医と登録医は常に連携を密にし、病状・検査の説明・指導にあたっては、患者に誤解や不安を与えないよう細心の注意を払わなければならない。

登録医が病院へ紹介入院させた患者を診察するについては次により行うものとする。

- 1 登録医は患者を診察し担当医と事前に協議の上、患者に療養上の指導等を行うものとする。
- 2 担当医と協議した結果行う、検査、処方、治療等の指示については担当医がこれを行うものとする。ただし、最終的決定には十分なインフォームドコンセントに基づき、患者、患者家族と担当医師との間で行うものとする。
- 3 登録医から希望がある場合、院長が許可したものについて患者の了解を得た上で、検査や手術、治療に助手として参加することができる。
- 4 病床における登録医の診療並びに指導等の時間は8時30分から21時までとする。ただし、緊急の場合はこの限りではない。
- 5 登録医が指導等のために来院するときは、あらかじめ電話等により地域医療連携室に来院日時を連絡するものとする。ただし、土曜午後、日、祝日及び午後5時以降は警備室に連絡するものとする。
- 6 登録医は、共同指導等を行った場合には、病棟に準備した開放型病院共同指導票(別紙様式)に必要事項を記載して、1枚(登録医用)は持ち帰り、残りは病棟クランクまたは看護師、医師に手渡すものとする。病棟においては、1枚(病棟用)は入院カルテに貼付し、1枚は医事課保管とし、1枚(地域医療連携室用)は地域医療連携室に送付し、共同指導を行ったものとする。
- 7 登録医は、指導等を行わない場合にも、来院し医師として患者と接した場合には地域医療連携室または警備室に来院した旨の記名を行う。

(開放型病院共同指導料の徴収)

第10条 紹介元の登録医と共同して紹介入院患者の指導を行った場合、共同指導料は双方が診療報酬点数表に基づき請求する。登録医が行った共同指導料にかかる患者一部負担金については登録医が徴収するものとする。

(登録医の責務)

第11条 登録医は乙の院内においては診察衣の着用が望ましく、所定の名札を付けるものとする。又、乙の院内においては病院の諸規定を遵守しなければならない。

(損害賠償)

第12条 登録医・担当医の医療行為により、患者もしくはその家族等から損害賠償を求められた場合は、関係者で協議するものとする。

(便宜供与)

第13条 登録医は申し出により次の便宜が供与される。

- 1 地域医療連携室、カンファレンス室、図書室の利用。
- 2 乙で行われる各科症例検討会及び手術・検査等の見学について乙の院長の了解のもとに参加できるものとする。
- 3 登録医の医院における患者の検査を乙に依頼する事ができる。

(運営)

第 14 条 開放型病院の運営に関するすべての事項を審議するため、「龍ヶ崎済生会病院開放型病床運営協議会」(以下「運営協議会」という)を設置する。

1 運営協議会の組織は次のとおりとする。

会長	病院長
副会長	2名とし、副院長及び龍ヶ崎市医師会・牛久市医師会会長
委員	乙側4名(事務部長、診療部長、看護部長、総務課長) 甲側4名(甲の内から選任)
事務局	地域医療連携室

委員の任期は2年とするが再任を妨げない。

会長は協議会を主宰する。

副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。会長は必要に応じ委員以外のものを協議会に出席させることができる。

2 協議会の開催

協議会は、会長が必要と認めたときに召集する。

2 この規定に定めのない事項については、この協議会において適宜協議するものとする。

(その他)

第 15 条 この協定に定めのない事項及びこの協定に関し疑問を生じた事項については、その都度、甲、乙協議して定めるものとする。

この契約を証するため、本書2通を作成し、甲、乙記名押印のうえ、各1通を保有するものとする。

年 月 日

「甲」 住 所

氏 名

「乙」 住 所

氏 名

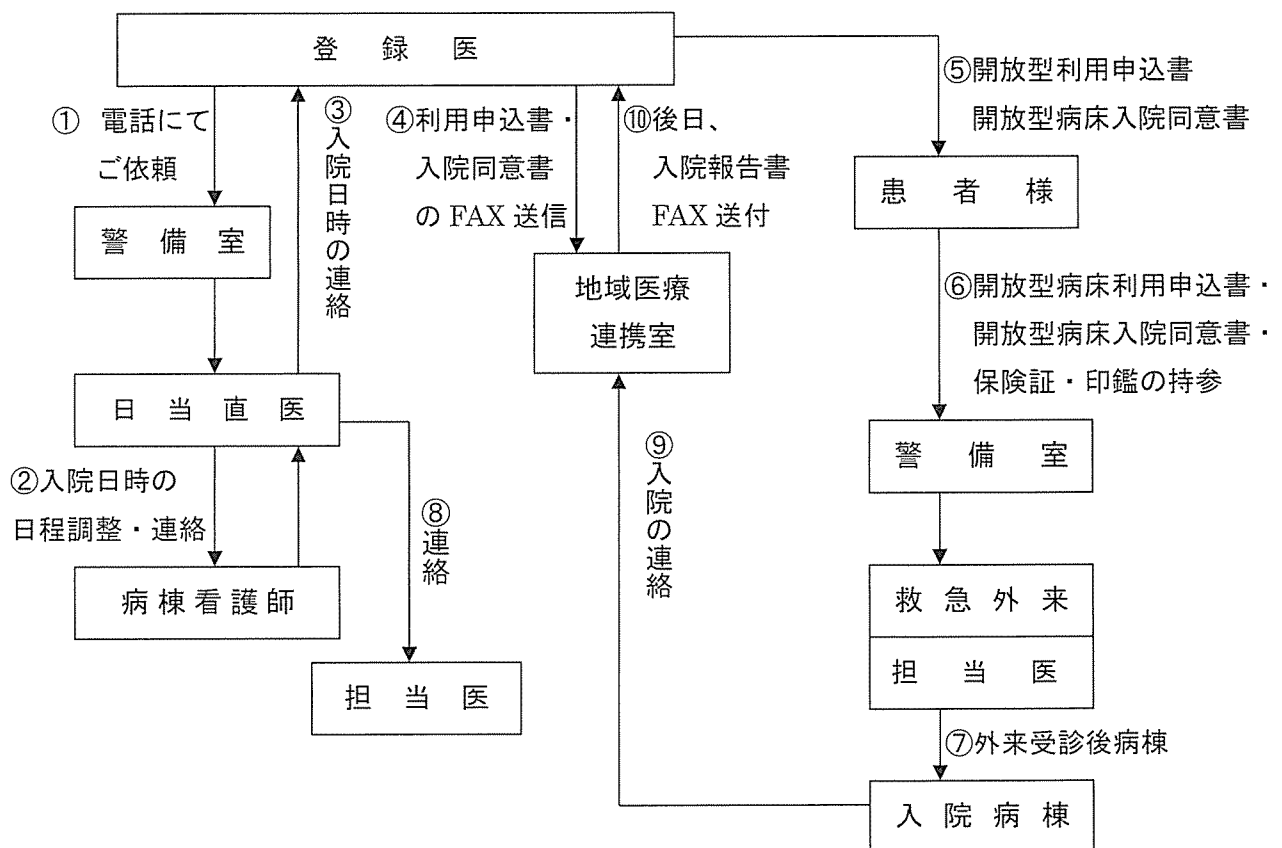
- (7) 地域医療連携室にてカルテを事前に作成し、担当医・総合受付・各科外来・入院病棟に連絡する。
(地域医療連携室)
※入院が翌日以降の場合には、地域医療連携室であらかじめカルテを作成し担当医に連絡しますので、入院予約を入れる。(担当医)
- (8) 入院日当日、患者さんは総合受付にて診療情報提供書（開放型病床利用申込書）、開放型病床入院同意書、保険証、印鑑を提出し、外来受診・入院の申し込みをする。(総合受付)
- (9) 原則として外来受診後、病棟に上がる。
- (10) 病棟クラークは地域医療連携室に入院確認の連絡をする。(病棟クラーク)
- (11) 担当医は、入院時御報告書を、登録医に送付する。必要に応じ電話、FAX 等で連絡する。
(担当医)
- (12) 地域医療連携室は、入院報告書を FAX にて登録医へ送信する。(地域医療連携室)

※開放型病床全体のベッドコントロールの責任者は副院長、看護部長とする。

・時間外：警備室にて対応

TEL 0297-63-7111 (代表)

FAX 0297-63-7164



- (1) 登録医より患者さんに開放型病床入院について十分な説明をし、同意を得る。(登録医)
- (2) 同意が得られた場合、登録医は代表（警備室）に連絡し、開放型病床利用希望すると伝える。
(登録医)
- (3) 警備室は日当直医に連絡する。(警備室)
- (4) 日当直医は、病棟看護師と日程調整・連絡後、入院日時を登録医に伝える。(日当直医)
※地域医療連携室は平日 17 時・土 12 時に開放型病床空床状況を救急外来に連絡する。

(地域医療連携室)

- (5) 診療情報提供書(開放型病床利用申込書)・開放型病床入院同意書を FAX にて地域医療連携室まで送信する。(登録医)
- (6) 患者さんは警備室にて診療情報提供書(開放型病床利用申込書)、開放型病床入院同意書、保険証、印鑑を提出し、外来受診申し込みをする。(警備室)
- (7) 原則として外来受診後、病棟に上がる。
- (8) 日当直医より担当医に引継ぎをする。
- (9) 担当医は、入院時御報告書を登録医に送付する。必要に応じ、電話・FAX 等で連絡する。(担当医)
- (10) 翌日、病棟クランクは地域医療連携室に開放型病床入院の連絡をする。(病棟クランク)
- (11) 翌日、地域医療連携室は入院報告書を FAX にて登録医へ送信する。(地域医療連携室)

2. 開放病床来院時

登録医の開放型病床における診療並びに指導等の時間は、8時30分から21時までとする。

- (1) 来院するときは、あらかじめ電話等により地域医療連携室(土曜午後、日、祝日及び午後5時以降は(警備室))に来院日時を連絡する。(登録医)
- (2) 地域医療連携室は担当医師、看護師長、総合受付(時間外:警備室)に連絡する。
(地域医療連携室)
- (3) 登録医が総合受付に来院したら、地域医療連携室まで連絡する。(総合受付)
- (4) 病棟に行く前に地域医療連携室にて受付をする。(登録医)
 - ・必ず名札・白衣を着用。地域医療連携室にて準備する。(時間外:警備室)
 - ・登録医来院記録簿に記入する。
- (5) ナースステーションにて「共同診療」の旨を伝える。(登録医)
 - ・共同診療は原則としてナースステーション又は病室にて行う。
- (6) 登録医は地域医療連携室に準備した開放型病床共同指導票に必要事項を記載する。
(地域医療連携室、時間外:看護師、医師)
- (7) コピーを登録医に渡す。(地域医療連携室、時間外:看護師、医師)
- (8) 名札、白衣を返却する。(地域医療連携室、時間外:警備室)

3. 退院手続き

- (1) 退院日については担当医と登録医が協議する。
- (2) 退院が決まったら病棟クランクより地域医療連携室に連絡する。(病棟クランク)

4. 開放型病院共同指導料について

2006年4月時点

共同指導料は双方が診療報酬点数に基づき請求します。登録医が行った共同指導料にかかる患者一部負担金については登録医が徴収する。

①開放型病院共同指導料(I)350点

開放型病床に入院中である場合において、登録医が開放型病床に赴いて、当該患者に対し登録医と担当医が共同で診療、指導等を行った場合に1人の患者に1日つき1回算定できる。

その算定は登録医の属する保健医療機関において行う。

開放型病院共同指導料(I)を算定した場合は、再診料、外来診療料及び往診料等は算定できない。

②開放型病院共同指導料(Ⅱ)220点

登録医の属する保健医療機関が開放型病院共同指導料(I)を算定した場合、開放型病院において算定する。

《注意事項》

共同指導実施票に基づいて、病名・診療日数等をレセプトに転記し、開放型病院共同指導料(Ⅱ)を算定する。

2003年8月 作成

2007年10月 一部改訂

2013年9月 一部改訂

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
山本医院	山本 法勝	龍ヶ崎市佐貫町560番地	内・循・小・眼・整	無
福岡小児科医院	福岡 和子	龍ヶ崎市若柴町1232	小・内	無
岡見第一医院	医療法人社団忠仁会	牛久市岡見町959-21	内・外・胃・小	無
兼子内科・循環器科	兼子 正明	龍ヶ崎市寺後3989-1	循・内・胃・小	無
いしかわクリニック	医療法人社団清和会	龍ヶ崎市大徳町5353-1	外・内・整外・肛	無
野村医院	医療法人昂会	龍ヶ崎市根町3316	産婦	無
鴻巣クリニック	鴻巣 俊寿	龍ヶ崎市緑町200	内・婦	無
うちだ医院	医療法人社団うちだ医院	龍ヶ崎市藤ヶ丘4-5-3	内・消・皮・小	無
さくらクリニック	医療法人さくら会さくらクリニック	龍ヶ崎市中根台1-9-7	内・外	無
佐倉クリニック	医療法人社団仁誠会	稲敷市佐倉佐倉原3251-7	内・脳・神内	無
八代内科医院	渡辺 正樹	龍ヶ崎市八代町1078-2	内	無
角崎クリニック	廣澤 彰	稲敷市中山4377	内	無
太田医院	医療法人社団実正会	牛久市さくら台1-18-2	外・内・整外・リハ・眼・胃・皮・小	無
いがらしクリニック	五十嵐 俊夫	龍ヶ崎市4659の3	産婦・内	無
鈴木内科医院	医療法人坂東会	北相馬郡利根町早尾890	内・呼・循	無
上柏田クリニック	佐藤 章仁	牛久市上柏田1丁目16-12	内・消・呼・循・小	無
飯野クリニック	飯野 知足	龍ヶ崎市若柴町2500-1	整、形外、美外、皮、外、内、リハ、耳	無
鈴木クリニック	鈴木 利之	稲敷市沼田26897-3	内・外	無
横田医院	医療法人明朝会	龍ヶ崎市2941	皮・泌・内	無
いずみ内科医院	泉 憲治	牛久市牛久町165-1	内・小・循・呼・消	無
植松整形外科耳鼻咽喉科クリニック	植松 修	牛久市南1-6-40(クリニックビル牛久1F)	整・リウマチ・リハ	無
医療法人社団 温美会 中野医院	中野 温	牛久市刈谷町3-96	内・循・小・胃・呼	無
菊地整形外科	医療法人社団萌春会	龍ヶ崎市北方町633	整	無
鳥越クリニック	鳥越 啓隆	牛久市女化町223-5	内・外・脳	無
高野クリニック	高野 信孝	牛久市南1-3-35	内・胃・循・呼	無
利根町国保診療所	利根町長 遠山務	北相馬郡利根町羽中200	内・小	無
高野耳鼻咽喉科クリニック	医療法人哲奈会	牛久市南2丁目22-7	耳	無
みやおか外科整形外科クリニック	清宮 稔博	龍ヶ崎市馴柴町635	整外・外	無
山村医院	山村 邦男	龍ヶ崎市佐貫3-5-5	内・消・循・神経・小	無
医療法人社団 博郁会 椎名産婦人科	医療法人社団博郁会	牛久市中央5丁目12-20	産婦	無
村井医院	村井 敏夫	龍ヶ崎市愛戸町55番地	内	無
医療法人 隆志会 斎藤クリニック	医療法人隆志会	龍ヶ崎市馴馬町602-7	消・外・内・整外	無
医療法人社団 八峰会 池田病院	医療法人社団八峰会	龍ヶ崎市貝原塚町3690番地の2	精	無
北竜台耳鼻咽喉科クリニック	高橋 容子	龍ヶ崎市長山7-7-2	耳鼻咽喉科	無
結束耳鼻咽喉科医院	結束 信子	牛久市牛久町280 エスカードビル4F	耳鼻咽喉科	無
宮本病院	医療法人盡誠会	稲敷市幸田1247番地	内・消・循・小・神内・眼・泌・皮・精・整・放・リハ	無
医療法人社団たつ巳会 小倉胃腸科肛門科	医療法人社団たつ巳会	牛久市東端穴町1275-2	内・外・胃腸・肛	無
ひまわり眼科クリニック	岡田 敏樹	龍ヶ崎市若柴町1230-3	眼	無

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
野上小児科医院	野上 哲夫	龍ヶ崎市南中島町118	小・アレルギー	無
中村クリニック	下川 治	龍ヶ崎市米町8686	内・胃・外・泌・肛	無
竜ヶ崎医院	佐藤 一美	龍ヶ崎市川原代町2641	内・小	無
ふたばこどもクリニック	柴田 徹	牛久市下根町773-5	小・内・アレルギー	無
北竜台耳鼻咽喉科クリニック	高橋 和彦	龍ヶ崎市長山7-7-2	耳鼻咽喉科	無
ユビキタスクリニック龍ヶ崎	医療法人社団ゆびきたす	龍ヶ崎市藤ヶ丘7-1-6-101	内・呼・アレルギー	無
犬童こどもクリニック	医療法人社団道華会	牛久市上柏田4-54-10	小	無
飯泉医院	飯泉 成司	牛久市田宮町140-4	内・消・外	無
吉澤胃腸科医院	吉澤 龍雄	龍ヶ崎市佐貫1-4-5	胃・内・小	無
みやざきホスピタル	医療婦人精光会	稲敷市上根本3474	精・神・内・心内・小・歯	無
みやざきホスピタル	医療婦人精光会	稲敷市上根本3474	精・神・内・心内・小・歯	無
井上内科クリニック	井上 由加利	牛久市栄町5-45-1	内	無
根本医院	医療法人社団千楽会	龍ヶ崎市半田町1390	内	無
奥田整形外科クリニック	医療法人佑稀会	牛久市中央1-21-3	整、リハ	無
河合医院	医療法人社団河合医院	牛久市田宮町3-2-2	内、外、小、皮	無
秋本脳神経外科	医療法人社団宏千会	龍ヶ崎市川原代町6187-1	脳	無
朝野循環器科クリニック	朝野 晴彦	龍ヶ崎市下町2887	内、循、呼、外	無
さくら台土肥クリニック	医療法人社団橘会	牛久市さくら台1の1の1	内、循	無
渡利耳鼻咽喉科医院	渡利 昭彦	龍ヶ崎市寺後3585-2	耳	無
はなみずきクリニック	高山 典子	牛久市中央1-6-22	婦、内、皮	無
医療法人 昴会 野村医院	医療法人昴会	龍ヶ崎市根町3316	整、ペイン	無
医療法人 昴会 野村医院	医療法人昴会	龍ヶ崎市根町3316	内、皮	無
坂西眼科医院	坂西 良彦	龍ヶ崎市馴馬町2976-1	眼	無
服部内科医院	服部 光治	北相馬郡利根町布川2830-1	内、消内	無
まつなみクリニック	松波 克弘	牛久市ひたち野東331-1-1	乳外、消内、内、外	無
松本アイクリニック	松本 容子	龍ヶ崎市馴柴町790-2	眼	無
医療法人 隆志会 斎藤クリニック	斎藤 政隆	龍ヶ崎市馴馬町602-7	胃、内、外、整、麻、肛、泌	無
医療法人 星野皮膚科アレルギー科クリニック	星野 稔	牛久市南1-6-40クリニックビル牛久2階		無
松本クリニック	松本 英夫	龍ヶ崎市馴柴町650-1	内	無
なかの循環器クリニック	中野 秀昭	牛久市中央1-21-3	循・内・心外、外	無
ことより医院	琴寄 誠	牛久市中央5-12-17	内、消内	無
村山内科クリニック	村山 耕子	牛久市南1-6-40 クリニックビル牛久3F	内、呼内	無
村山内科クリニック	村山 耕子	牛久市南1-6-40 クリニックビル牛久2F	糖、生活習慣病相談	無
印南クリニック	印南 隆一	稲敷郡阿見町荒川本郷1329-1	内、循、外、リハビリ	無
桜が丘メルクリニック	鎌田 裕十朗	取手市桜が丘1-17-1	内、小	無
草間医院	草間 泰夫	取手市青柳114	内、外	無
村田内科クリニック	村田 達也	取手市谷中34-1	内、外、小	無
有田内科整形リハビリクリニック	有田 元英	取手市毛有363-2	リハビリ、整、神内	無

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
有田内科整形リハビリクリニック	有田 元英	取手市毛有363-2	内、消内、小	無
飯泉内科クリニック	飯泉 智弘	取手市藤代1121-2	内	無
ひたちの整形外科	宮内 幸男	牛久市下根町773-1	整、リハビリ	無
さくら整形外科クリニック	西間木 哲也	取手市桜が丘1-2-1	整、内	無
天満胃腸科クリニック	天満 信夫	牛久市南5-44-8	内、消内、外、肛	無
さかえ医院	柏木 康隆	稲敷郡阿見町中央4-8-24	内、呼、外、小	無
あみ小林クリニック	小林 弘雄	稲敷郡阿見町若栗1765-1	内、腎内	無
滝沢内科医院	瀧澤 義矩	取手市宮和田1049-5	耳鼻	無
滝沢内科医院	瀧澤 義矩	取手市宮和田1049-5	内、小	無
まかべ内科	真壁 文敏	取手市新取手2-10-9	循、内	無
あべ整形外科	安部 伊知朗	稲敷郡阿見町中央6-20-1	整、リハビリ	無
丸野医院	丸野 透	取手市稲853	脳外、内、循、リハビリ	無
いなしきクリニック	尾澤 英彦	稲敷市蒲ヶ山79-1	整、皮、内、リハビリ	無
高安クリニック	高安 聡	取手市東2-6-41	内、呼	無
ゆめみ野クリニック整形外科	許 表楷	取手市ゆめみ野1-71-3	整、リハビリ	無
ゆはらクリニック	湯原 恭子	稲敷市古渡39	内、消内、小	無
堤医院	堤 孝一	取手市本郷5-9-21	内、神内、小	無
竹村医院	医療法人社団 竹村医院	取手市東1-2-12	内、眼	無
ひかりの森 内科クリニック	芳賀 貴章	龍ヶ崎市北方町2084-1	内、循、呼、糖、心	無
あだち内科クリニック	足立 秀喜	牛久市さくら台3-61-15	内、呼、小	無
松本クリニック	松本 文昭	龍ヶ崎市馴柴町650-1	皮、形成	無
龍ヶ崎大徳ヘルシークリニック	島倉 秀也	龍ヶ崎市大徳町1298-3大徳ヘルシービル1F	内、消内、心内	無
山中医院	山中 秀人	北相馬郡利根町中田切1-1	内、消、糖、漢方、循、呼、整、リハ	無
飯野クリニック	飯野 知足	龍ヶ崎市若柴町2500-1	内科	無
ひたちのうしく眼科	山本 敏哉	牛久市ひたち野東4-7-2	眼科	無
はなみずきクリニック	高山 典子	牛久市中央1-6-22	皮膚、アレルギー	無
ひたち野ファミリークリニック	高野 恵輔	牛久市ひたち野西2-27-2	内、外、消内、小	無
えのもと皮ふ科	榎本 久子	牛久市ひたち野東2-12-6	皮、アレルギー、美容皮膚	無
牛尾病院	牛尾 浩樹	龍ヶ崎市馴柴町1-15-1	内、外、整形、形成、皮膚、乳腺、代謝	無
ひたち野うしく腎クリニック	小川 裕二郎	牛久市ひたち野西4-11-2	腎内、人工透析、内科	無
牛久神谷内科クリニック	籠橋 克紀	牛久市神谷6-41-27	内科、呼内	無
ひたちの晴嵐呼吸器内科	三浦 由記子	牛久市ひたち野東1-19-8	内、呼内	無

2023年度 研修実績報告

	開催日・場所	研修会名	内容	出席者								
				院外				院内				合計
				医師		その他		医師		その他		
会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web					
1	2023年4月24日(月) 済生会ホール Web配信あり	第205回 地域連携カンファランス	最近経験した【右肺が真っ白】だった印象的な症例集 講師:呼吸器内科部長 佐藤 信也先生 アレルギー性鼻炎について 講師:耳鼻咽喉科部長 佐藤 重規先生	医師		その他		医師		その他		23
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				3	2	2	0	7	0	6	3	
2	2023年5月22日(月) 済生会ホール Web配信あり	第11回 感染対策カンファランス	①2022年度当院での最近培養検査/アンチバイオグラムの報告 講師:臨床検査科 ②COVID-19 5類感染症移行に伴う感染対策について 講師:看護部感染専従	医師		その他		医師		その他		30
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				4	4	1	5	4	0	11	1	
3	2023年6月26日(月) 済生会ホール Web配信あり	第206回 地域連携カンファランス	当院で経験した子宮頸がんワクチン副反応の1例 講師:産婦人科部長 大橋 加奈先生 いまさら聞けない慢性B型肝炎と ガイドライン改訂のポイント 講師:副院長 消化器内科 佐藤 巳喜夫先生	医師		その他		医師		その他		20
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				2	1	0	0	7	2	7	1	
4	2023年6月29日(木) 第2.3会議室 Web配信あり	栄養士連携の会	当院の嚥下調整食学会コード4の献立紹介と調理の工夫 講師:栄養科 管理栄養士: 根本 結佳	医師		その他		医師		その他		17
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	0	5	7	0	0	5	0	
5	2023年7月24日(月) 済生会ホール Web配信あり	第207回 地域連携カンファランス	小児の骨折 保存療法の許容と実際 講師:整形外科 桂 健生先生 排尿障害の治療薬について 講師:泌尿器科部長 荒木 彰弘先生	医師		その他		医師		その他		20
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				2	1	0	0	9	0	7	1	
6	2023年7月27日(月) 済生会ホール Web配信あり	第2回 感染対策カンファランス	環境整備・環境清掃について考えてみよう 講師:看護部感染専従	医師		その他		医師		その他		30
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				1	3	5	5	1	0	15	0	
7	2023年9月25日(月) 済生会ホール Web配信あり	第208回 地域連携カンファランス	流涙症の治療 講師:眼科 田崎 邦治先生 重症下肢虚血(CLI) up to date～当院での取り組み～ 講師:循環器内科部長 斧田 尚樹先生	医師		その他		医師		その他		22
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				3	3	2	0	6	0	8	0	
8	2023年9月28日(木) 済生会ホール	医療安全について	医療安全について 講師:医療安全専従 大和田 久美	医師		その他		医師		その他		35
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	1	8	11	0	0	15	0	
9	2023年10月4日(水) 済生会ホール	第7回 龍ヶ崎済生会病院がん化学療法病棟連携研修会	肺癌診療における他職種連携～肺癌薬物療法で高まる重要性 講師:呼吸器内科 宮崎 厚彦先生	医師		その他		医師		その他		37
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	0	22	0	1	0	14	0	
10	2023年10月23日(月) 済生会ホール Web配信あり	第3回 感染対策カンファランス	新型コロナウイルス既感染の患者が増えていることに伴う入院時PCR検査の陽性と内訳についての報告 講師:特任副院長 呼吸器内科 児玉 孝秀先生 COVID-19事例報告・サーベイランス報告 講師:感染専従 木村 昌代	医師		その他		医師		その他		23
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				2	6	2	2	4	0	7	0	
11	2023年11月9日(木) 第2.3会議室 Web配信あり	栄養士連携の会	食べられない方への多職種でのアプローチ 講師:栄養科 管理栄養士: 平瀬 愛理	医師		その他		医師		その他		25
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	0	9	11	0	0	5	0	

	開催日・場所	研修会名	内容	出席者								
				院外				院内				合計
				医師		その他		医師		その他		
会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web					
12	2023年11月15日(月) 済生会ホール Web配信あり	リハビリテーション科勉強会	高齢者と摂食嚥下障害～簡単にできる評価と訓練～ 講師:リハビリテーション科 島田 拓哉	医師		その他		医師		その他		23
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	0	5	6	0	0	10	2	
13	2023年11月27日(月) 済生会ホール Web配信あり	第209回 地域連携カンファレンス	造影剤使用によりST上昇を伴ってショックに陥った症例 講師:循環器内科部長 石川 公人先生 片頭痛の治療 講師:副院長 脳神経内科 古庄 健太郎先生	医師		その他		医師		その他		23
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				1	2	2	0	7	0	10	1	
14	2023年11月30日(木) 第4会議室 Web配信あり	視能訓練科勉強会	区分屈折率光学式眼軸長測定装置ARGOSについて・ARGOSによる検査結果報告等 講師:視能訓練士:小菅 知子	医師		その他		医師		その他		13
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	1	1	8	0	0	3		
15	2024年1月22日(月) 済生会ホール Web配信あり	第210回 地域連携カンファレンス	手術不能胆嚢炎への超音波内視鏡治療 講師:消化器内科部長 間宮 孝先生 重症気管支喘息における抗体製剤について 講師:呼吸器内科部長 宮崎 邦彦先生	医師		その他		医師		その他		18
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				3	1	1	0	6	0	6	1	
16	2024年2月26日(月) 済生会ホール Web配信あり	第4回 感染対策カンファレンス	結核・肺結核について 講師:呼吸器内科部長 宮崎 邦彦先生 患者における肺結核発生とその対応について・サーベイランス報告 講師:感染専従 木村 昌代	医師		その他		医師		その他		20
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				3	5	2	1	2	0	7	0	
17	2024年2月27日(木) 済生会ホール Web配信あり	リハビリテーション科勉強会	筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者に対するリハビリテーション 講師:リハビリテーション科 丸山 健太	医師		その他		医師		その他		20
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	0	0	8	0	0	6	6	
18	2024年2月22日(木) 済生会ホール Web配信あり	地域看護研修会	癌終末期患者の予後予測 講師:ホームクリニックなぎの木 阪口 志帆先生	医師		その他		医師		その他		92
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	0	8	22	0	0	61	1	
19	2024年3月18日(月) 済生会ホール	第31回 龍ヶ崎市薬剤師勉強会	心不全について～基礎から治療まで～ 講師:循環器内科 石川 公人先生	医師		その他		医師		その他		52
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	0	20	0	1	0	31	0	
20	2024年3月27日(水) Web配信のみ	地域医療従事者の資質向上を図るための研修会(臨床検査科)	肺機能検査について 講師:臨床検査科 瀧口 はる奈	医師		その他		医師		その他		7
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	0	0	5	0	0	2	0	
21	2024年3月28日(木) 第2.3会議室 Web配信あり	栄養士連携の会	栄養情報提供書before&after 講師:栄養科 管理栄養士:根本 結佳	医師		その他		医師		その他		16
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	0	6	5	0	0	5	0	
22	2024年3月28日(木) Web配信のみ	地域医療従事者の資質向上を図るための研修会(放射線科)	新規超音波診断装置の使用経験 講師:放射線科 坂井 徹也 ATISWEの基本原則と使用方法 講師:キャンノンメディカルシステムズ株式会社	医師		その他		医師		その他		18
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	0	0	11	0	0	5	2	
23	2024年3月29日(金) Web配信のみ	リハビリテーション科勉強会	サルコペニアの基礎知識と評価 講師:リハビリテーション科 星出 達郎	医師		その他		医師		その他		17
				会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web	
				0	0	0	8	0	0	4	5	